

無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究 (①無02-15-5/5)

目 的

我が国の風俗慣習、民俗芸能、民俗技術等無形民俗文化財のうち、近年の変容の著しいものを中心に、その実態を把握するために資料収集と現地調査を行う。また、無形民俗文化財研究協議会を実施し、その成果を報告書にまとめる。さらに、これまで東京文化財研究所で収集・保管している無形民俗文化財についての記録・資料の整理を行う。

成 果

1. 民俗芸能の調査として咲前神社太々神楽等について、民俗技術の調査として箕の製作技術や鵜飼漁の技術等について、伝承や保護の実態についての現地調査や資料収集を行い、現状を把握するとともに現地関係者とのネットワークを構築した。また継続テーマである「削りかけ」状祭具に関わる技術と風俗慣習の研究として、石川県や青森県において調査を行った。
2. 東日本大震災被災地における民俗芸能、風俗慣習の調査として、浪江町の菟宿鹿舞、宮城県女川町の祭礼及び獅子舞等に関して調査を行い、資料収集・記録保存を行った。また国立研究開発法人 防災科学技術研究所と無形文化遺産アーカイブスの開発を行い、全国版に先駆けて「311復興支援 無形文化遺産アーカイブス」を公開した。収容する映像・画像資料等についても随時収集や寄贈受け入れ等を行い、整備を進めた。
3. 第10回無形民俗文化財研究協議会を「ひらかれる無形文化遺産一魅力の発信と外からの力」をテーマに東京文化財研究所において開催し、154名の参加を得た。4件の事例報告をもとにコメンテーター2名を含めた総合討議を行った。成果は『第10回無形民俗文化財研究協議会報告書』にまとめた。また3月には第4回無形文化遺産情報ネットワーク協議会を東京文化財研究所において開催。東北被災地域における無形文化遺産の復興支援に関わる様々な分野の関係者が参加し、課題の整理と今後の展望について協議した。

論文

- ・久保田裕道「無形文化遺産としての儀礼文化」『儀礼文化学会紀要』2 pp.126-137 16.3

報告

- ・久保田裕道「神楽の歴史と鷺宮咲前神社太々神楽」他『鷺宮咲前神社と太々神楽二百年記念誌』鷺宮咲前神社太々神楽二百年記念事業実行委員会 pp.10-44 15.10
- ・久保田裕道「東日本大震災を乗り越えた民俗芸能の力」他『岩手県民俗芸能北京公演プログラム』国際交流基金 pp. i-iii、v、ix、xii 15.10

発表

- ・久保田裕道「神楽の歴史と鷺宮咲前神社太々神楽」鷺宮咲前神社太々神楽奉納二百年記念式典 15.10.24
- ・今石みぎわ「生きた文化財を継承する—無形文化遺産と被災・復興」東北大学東京分室会議室 15.10.25
- ・今石みぎわ「小正月を彩るツクリモノの世界」第6回 儀礼文化講座 15.12.13

刊行物

- ・『無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究プロジェクト報告書 震災復興と無形文化遺産をめぐる課題』東京文化財研究所 16.3

研究組織

○飯島満、久保田裕道、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、齊藤裕嗣、菊池健策（以上、客員研究員）

第10回無形文化遺産部公開学術講座（①無01-15-5/5の一部として実施）

2015（平成27）年12月18日、東京国立博物館平成館大講堂において、「邦楽の旋律とアクセント—中世から近世へ—」と題して公開学術講座を行った。入場者数309名。

プログラム

講演1 高桑いづみ（無形文化財研究室長）「明治以前の謡とアクセント」

実演1 と話 謡の復元「松風」ほか

実演 味方玄（観世流能楽師）

講演2 坂本清恵（日本女子大学文学部教授）「近世邦楽とアクセント」

実演2 と話 長唄「鶴亀」ほか

実演 稀音家義丸（長唄演奏家）・日吉栄寿（長唄三味線演奏家）・杵屋三澄那（長唄三味線演奏家）

無形民俗文化財研究協議会（②無02-15-5/5の一部として実施）

無形文化遺産部では、無形民俗文化財の保存・継承に寄与することを目的として、毎年無形民俗文化財研究協議会を開催している。第10回にあたる本年度は「ひらかれる無形文化遺産—魅力の発信と外からの力」をテーマとし、無形民俗文化財がどのように文化の魅力を発信し外部の力を呼び込むべきか、あるいは外部の者が地域伝承にどのように関わるべきかについて報告・討議を行った。その成果は報告書として刊行した。

日 時：2015（平成27）年12月4日（金）10:30～17:30

会 場：東京文化財研究所 セミナー室

参加者：154名

テーマ：「ひらかれる無形文化遺産—魅力の発信と外からの力」

内 容：

【発表】

松井今日子（芸北民俗芸能保存伝承館）「壬生の花田植がユネスコ無形文化遺産になるまで—地域住民による保護と継承活動に着目して」

五十嵐千江（関川しな織協同組合）「関川のしな織—伝統技術による地域活性化と文化継承活動について」

柳沢拓哉（八戸ポータルミュージアム）「八戸ポータルミュージアムはっちの取り組み」

狩俣恵一（沖縄国際大学）「沖縄からの発信—竹富島の種子取祭芸能の継承—」

【総合討議】

上記報告者と下記コメンテーター、コーディネーターによる総合討議を行った。

コメンテーター：菊池健策（東京文化財研究所客員研究員）、小岩秀太郎（全日本郷土芸能協会）

コーディネーター：久保田裕道・今石みぎわ（無形文化遺産部）

総 合 司 会：飯島満（無形文化遺産部）